

博士課程教育リーディングプログラム 平成27年度プログラム実施状況報告書

採択年度	平成24年度		
申請大学名	東京農工大学	申請大学長名	松永 是
申請類型	複合領域型（環境）	プログラム責任者名	國見 裕久
整理番号	H01	プログラムコーディネーター名	千葉 一裕
プログラム名	グリーン・クリーン食料生産を支える実践科学リーディング大学院の創設		

<プログラム進捗状況概要>

1. プログラムの目的・大学の改革構想

本学では、博士人材に対する社会の強いニーズに応える実践科学リーディング大学院を創設し、生命の源である「食」に関する地球規模での究極的な課題に挑戦し、食の生産性やエネルギー依存形態を変革する構想力と「実践力」を備えた国際的なリーダーを養成することを目標とし、「プラクティカルサイエンス（実践科学）学位プログラム」を導入し、以下の人材養成の目標を達成すべく体系的に教育を行う。

- ・ 高度な実践型研究人材として、食料、環境、エネルギーの相互不可分の関係を理解し、人類生存の究極課題に熱意を持って挑戦できる。
- ・ 複合領域に跨がる広い専門分野の人材を統率してチームを作り、コミュニケーション力をもって国際社会で活躍できる。
- ・ 目標実現に向かって自らの洞察力で見出した課題について、強い意志で挑戦・実行・完遂できる。

本プログラムは全学的な大学院教育改革構想に基づき、全学的な融合領域としての大学院新専攻（食料エネルギーシステム科学専攻）を、生物システム応用科学府（BASE）を責任部局として設置し、新専攻の設置に伴う教育研究スペース、施設等を大学の責任の下で完備させた。また、海外機関との連携教育、海外大学からの学生の招聘、支援スタッフの雇用等について、大学独自予算により実施する。

当該専攻の教育は、国内外から第一線の教員を招聘すると共に、全学から厳正な審査によって選出された、教育理念を共有する意欲的な教員が参加し、全学の大学院研究科に当該リーダー養成プログラムを波及させる。

2. プログラムの進捗状況

平成27年度は、国際的なリーダーを養成するため、本年度に設置した5年一貫専攻「食料エネルギーシステム科学専攻」の運営を行うとともに、昨年度に引き続き、国内外の連携機関と協力し、国内外でのイノベーション研修、留学、インターンシップ等を含む教育プログラムの実施及び内容の充実化を図った。また、さらなる教育研究基盤の整備も行った。具体的な事業実施内容は以下のとおり。

- ①プログラム教育研究基盤の整備の一環として、養成対象者の共通利用設備の拡充を行った。
- ②プログラムの円滑な運用のため、プログラム運営に従事する教職員を引き続き雇用した。
- ③国内外連携機関と協力の下、イノベーションリーダー育成に向けた各種の研修、合同ワークショップ等を実施した。また、これらの研修・ワークショップの開催に向け、連携機関との連絡調整、学生への事前教育等を実施した。
- ④国内外で活躍する研究者、専門人材等を講師として招へいし、グリーン・クリーン食料生産、イノベーションスキルの育成及びリーダー人材としての基盤能力育成のための講義、セミナー等を開催した。
- ⑤国内外連携機関関係者を招へいし、リーディングセミナーを開催した。
- ⑥学生の留学、インターンシップ等を実施するとともに、派遣に向けた派遣先との調整、学生への事前教育を実施した。
- ⑦インターンシップ、留学、合同ワークショップ等の教育プログラム拡充に向け、既存の連携機関との関係強化を行うとともに、新たな連携機関の開拓及びこれらの機関との関係構築を行った。
- ⑧28年度D1進級者を決定するためのQE1を実施した。また、28年度の5年一貫専攻入学者の募集及び選考を行った。
- ⑨育成対象者に対する奨励金を支給した。
- ⑩プログラム広報のため、プログラムWebサイトの充実や新聞等への広告記事掲載等の情報発信を実施した。